

Japanese Patent Office
Utility Model Laying-Open Gazette

Utility Model Laying-Open No. 54-86631
Date of Laying-Open: June 19, 1979
International Class(es): H 01 H 85/50
H 05 K 1/18

(pages in all)

Title of the Invention: Fuse Mounting Unit

Utility Model Appln. No. 52-162072
Filing Date: December 1, 1977
Inventor(s): Toshihiko MIYATAKE et al.

Applicant(s): Matsushita Electric Industrial Co.,
Ltd.

Partial Translation of
Japanese Utility Model Laying-Open No. 54-86631

Fuse Mounting Unit

5

Scope of Claims for Utility Model Registration

A fuse mounting unit characterized in that a slot for fitting a fuse therein transversely is provided in a printed circuit board, a pair of bare conductors bridging the slot is fixed, on one surface of said board, on both ends of the slot, a tongue piece is provided, on the other surface of the board, about central part of the slot, and the fuse inserted in the slot of said board is fixed to the board between said paired bare conductors and the tongue piece.

15

(omitted)

20

Fig. 1 is a cross section viewed from the front according to one embodiment of the present utility model, Fig. 2 is a cross section viewed from the lateral side, Fig. 3 is a top view and Fig. 4 is a rear view. In these drawings, there are shown a fuse (1), a printed board (2), and a rectangular slot (3) allowing the fuse (1) to be fit in transversely. On one surface of the board (2) surrounding the rectangular slot (3), a pair of bare conductors (4), (4') bridging the slot (3) is provided on either end of the slot (3) to be fixed to the board (2). On the other surface of the board (2), an elastic or inelastic tongue piece (5) is fixed about the central part of the slot (3). The fuse (1) is inserted into the slot (3) provided in the board (2), and the fuse (1) is secured to the board (2) between the paired bare conductors (4), (4') and the tongue piece (5). The tongue piece (5) may be fixed on one end to the board (2) by a fastener (6) or by screwing. Alternatively, a part of the tongue piece (5) may be fixed to the board (2) by soldering. The bare conductors (4), (4') are hammered in the printed board (2) by an automatic machine. Both ends of the conductors are then dipped in a solder bath to be soldered and fixed at a location (8) to a conductor foil (7) and accordingly connected to the circuit.

⑪公開実用新案公報 (U)

昭54—86631

⑫Int. Cl.²
H 01.H 85/50
H 05.K 1/18

識別記号 ⑬日本分類
59 B 0
59 B 1
59 G 402

厅内整理番号
6658—5G
6370—5F

⑭公開 昭和54年(1979)6月19日
審査請求 未請求

(全 1 頁)

⑮ヒューズの取付け装置

⑯実 願 昭52—162072
⑯出 願 昭52(1977)12月1日

⑯考 案 者 宮武敏彦
門真市大字門真1006番地 松下
電器産業株式会社内

⑯考 案 者 大熊啓祐

門真市大字門真1006番地 松下
電器産業株式会社内

⑯出 願 人 松下電器産業株式会社

門真市大字門真1006番地

⑯代 理 人 弁理士 吉崎悦治

⑯実用新案登録請求の範囲

プリント基板にヒューズが横に嵌まる細長い穴を設け、該基板の一方の面の穴の両端に穴を橋接する1対の裸導線を固定し、基板の反対側の面の穴の中央部付近に舌片を設け、前記基板の穴に挿入したヒューズを前記1対の裸導線と舌片によつて基板に固定することを特徴とするヒューズの取

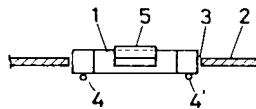
付け装置。

図面の簡単な説明

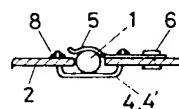
図は本考案の一実施例を示し、第1図は正面の断面図、第2図はその側断面図、第3図は上面図、第4図は下面図である。

1 ……ヒューズ、2 ……プリント基板、3 ……穴、4, 4' ……裸導線、5 ……舌片。

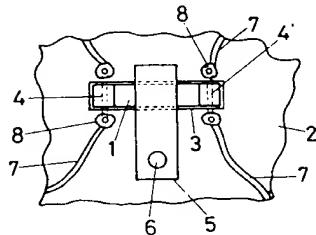
第1図



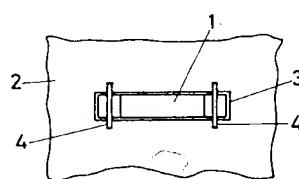
第2図



第3図



第4図





G 3000E

実用新案登録願 (4)

昭和 52 年 12 月 1 日

特許序長官殿

1 考案の名称

ヒューズの取付け装置

2. 老案者

住 所 大阪府門真市天字門真1006番地
内 松下電器産業株式会社
氏 名 ミヤタケトシヒコ
宮 武 敏 彦 (ほか1名)

3 實用新案登録出願人

住所 大阪府門真市大字門真1006番地
名称 (582) 松下電器産業株式会社
代表者 山下俊彦

4 代 理 人

住 所 大阪市旭区新森5丁目6番11号

医 疗 (5990) 理 卫 岩 悅 治

[前透表五 (06) 951 = 1613]

5 添付書類の目録

(1) 明細書
 (2) 面状本
 (3) 委任狀
 (4) 副狀本

通
通
通

54-26631

方審式查

• 52 162072

明細書

1. 考案の名称

ヒューズの取付け装置

2. 実用新案登録請求の範囲

プリント基板にヒューズが横に嵌まる細長い穴を設け、該基板の一方の面の穴の両端に穴を橋絡する1対の裸導線を固定し、基板の反対側の面の穴の中央部付近に舌片を設け、前記基板の穴に挿入したヒューズを前記1対の裸導線と舌片によつて基板に固定することを特徴とするヒューズの取付け装置。

3. 考案の詳細な説明

本考案は、ラジオ受信機その他の通信機のプリント基板にヒューズを取付ける装置に係り、小型で且つ取付けに手間の掛らない装置を提供することを目的とするものである。

従来基板にヒューズを取付けるには、弾性体から成る1対のヒューズホルダを基板に固定して設け、このホルダにヒューズの両端を挟持させてヒューズを取付けている。本考案はこのようなホル

ダを使用せず、プリント基板にヒューズが横に嵌まる細長い穴を設け、基板の一方の面の穴の両端に穴を橋絡する1対の裸導線を固定し、基板の反対側の面の穴の中央部付近に舌片を固定して設け、基板に設けた穴に挿入したヒューズを1対の裸導線と舌片によつて挟持するようとしたものである。

以下図面を参照して本考案の一実施例を説明する。第1図は本考案の一実施例の正面の断面図、第2図はその側断面図、第3図は上面図、第4図は下面図である。これらの図において(1)はヒューズ、(2)はプリント基板で、プリント基板(2)にはヒューズ(1)が横に嵌まる細長い角穴(3)が形成され、該穴(3)を跨む基板(1)の一方の面の穴(3)の両端には、穴(3)を橋絡する1対の裸導線(4)、(4')が基板(1)に固定して設けられており、基板(2)の反対側の面には穴(3)の中央部付近に弾性体又は非弾性体の1枚の舌片(5)が固定され、基板(2)に設けられた穴(3)中に挿入したヒューズ(1)を1対の裸導線(4)、(4')と舌片(5)によつて両側から挟持して基板(2)に固定するものである。舌片(5)はプリント基板(2)にはとめ(6)に

てその一端を固定するか、又はねじ止め或は舌片(5)の一部をはんだ付けで固定してもよい。又1対の裸導線(4)、(4')はプリント基板(2)に自動機により打ち込んで後、その両端をはんだ槽中にティップして基板に設けられた導体箔(7)に(8)の部分ではんだ付けして固定され、且つ回路に接続される。』

本考案は以上のようにヒューズが基板に設けた穴に入り、1対の裸導線と舌片によつて挟持されるものであるので場所をとらず小型にできるほか、部品の取付けは機械によつて自動化できるので組立に手間が掛らず安価に製造することができる等の効果が得られる。

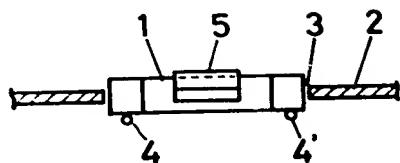
4. 図面の簡単な説明

図は本考案の一実施例を示し、第1図は正面の断面図、第2図はその側断面図、第3図は上面図、第4図は下面図である。

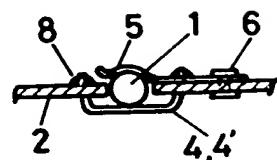
(1) ... ヒューズ、(2) ... プリント基板、(3) ... 穴、(4)、(4') ... 裸導線、(5) ... 舌片。

代理人の氏名 弁理士 吉崎悦治

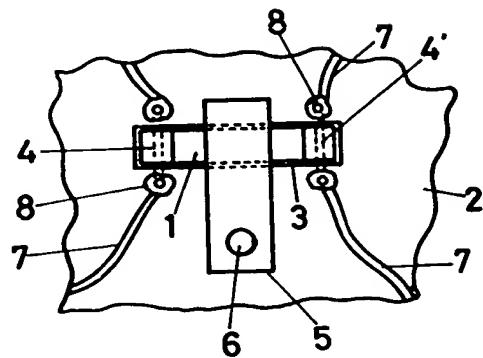
第 1 図



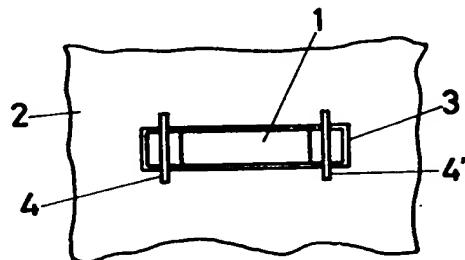
第 2 図



第 3 図



第 4 図



86631

代理人の氏名

弁理士 吉崎 悅治

6 前記以外の考案者

住 所 大阪府門真市大学門真1006番地
松下電器産業株式会社内

氏 名 オオクマケイスケ
大 熊 啓 祐

54-86631